

あぐりサポートニュース

～12市町村 復興再生への取組《檜葉町》～

(公財)福島県農業振興公社

檜葉町における営農再開状況及び営農再開に向けた取組紹介

檜葉町内の令和3年度末時点の水稻による営農再開面積は301ha (営農再開率73.4%)《檜葉町調べ》であり、営農再開が着実に進み、震災前の田園風景を取り戻しつつあります。

令和4年 水稻作付け状況



また、震災後、町内では「(株)福島しろはとファーム」と「甘藷生産部会」を中心にサツマイモ(甘藷)の栽培に取り組んでおり、今年度は約50haの作付けを予定しています。町では、甘藷貯蔵施設等を整備し、サツマイモの一大産地化を目指しています。



檜葉町甘藷貯蔵施設 (檜葉おいも熟成蔵)

県営基盤整備事業として、令和3年度に山田浜地区が事業採択され、今年度から工事に着手する予定となっています。工事の進捗に合わせ、町と連携して、農地中間管理事業の活用を推進していきます。

さらに、令和3年度から町と一般社団法人ならはみらいにて、町外からの新規就農人口拡大に向けて、農業体験ができるアグリツーリズムの構築に取り組んでいます。

《トライ!! ナラハ!! (福島県檜葉町の移住・定住サポート窓口)》

新規就農者 下川 洋さん(青年等就農計画認定者)

(紹介文) 下川さんは、埼玉県のご出身で、奥様との結婚を機に檜葉町に移住しました。現在は町内の農業法人「(株)福島しろはとファーム」で働きながら、サツマイモ栽培のノウハウを学んでいます。未経験から農業の世界に飛び込み、若い力で檜葉町を盛り上げています。詳しくは以下のHPをご覧ください。 ⇒ <https://try-naraha.jp>



《市町村コーディネーター 自己紹介》

昨年4月から檜葉町の市町村コーディネーターを担当しております、渡邊 正純(わたなべ せいじゅん)【檜葉町出身】です。檜葉町役場の産業振興課内に駐在しております。町内農地において、より多くの営農再開が進むよう関係機関と連携しながら、農地バンク事業に取り組んで参ります。



渡邊
コーディネーター

町内遊休農地の現地確認



(株)福島しろはとファーム
甘藷栽培状況